

平成25年度

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

公益財団法人平野政吉美術財団 事業実施計画

I 展示公開事業

II 教育普及事業

III 調査研究事業

IV 美術ホール運営事業

V 誘客事業

VI 情報発信事業

VII 売店事業

<基本方針>

- ・ 1930年代の藤田嗣治の油彩画を中心とした平野政吉コレクションの展示や美術品に関する調査・研究等を行い、県民のみならず広く世界に藤田作品のすばらしさを発信する。
- ・ 現美術館が6月末の閉館を迎えるにあたって、なるべく多くの来館者に最後の美術館での展示を見ていただき、メモリアルとなる閉館事業を行う。
- ・ 新美術館開館後は、まずは、県民100万人に《秋田の行事》を鑑賞してもらうことを目標に、教育普及事業、広報活動、誘客事業を行う。
- ・ 開館記念の年にふさわしい特別企画展を行う。
- ・ 地域に開かれた美術館を目指し、「ひと作り、まち作り」事業に着手する。

I 展示公開事業

常設展示

1. 展示会場 現秋田県立美術館 3階展示室
2. 会 期 平成25年4月1日(金)～平成25年6月30日(日)
3. 主な展示作品

藤田嗣治素描	《秋田の行事の素描》15点 《北京での素描》 《メキシコでの素描》 《女》 《Y夫人の肖像》
西洋画等	ペルークスコ派の宗教画 5点 ゴヤ《闘牛技》30点 リオス《水を汲む少女》 リヒテル《トルコの後宮》等26点
写真	藤田嗣治関連 平野政吉関連

企画展 藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢 ―ファイナル平野政吉美術館―

1. 展示会場 現秋田県立美術館 2F 大展示室・小展示室
2. 会 期 平成25年4月5日(金)～平成25年6月30日(日)
3. 展示趣旨

藤田嗣治の壁画《秋田の行事》をはじめとする平野政吉コレクションを展示するために、美術館を建設しようという機運が、1960年頃、秋田県で高まる。これを受けて、フランスを訪れた平野家親族に、《秋田の行事》の展示について、藤田は礼拝堂のような大空間を示した。

この時、藤田の脳裏には、1936年に計画され、幻となった美術館が浮かんだと思われる。それは、亡くなった藤田の妻・マドレーヌの鎮魂のために、平野によって提案された美術館である。壁画《秋田の行事》は1937年、この美術館の壁を飾るために描かれた。しかし、この美術館は、戦時体制下のため、建設は中止された。

戦争をはさむ長い年月を経て、1967年5月に、現在の秋田県立美術館が開館。その中に、平野政吉コレクションを展覧するスペースが設けられ、46年間、平野政吉美術館として親しまれてきた。藤田の祈りと平野の夢が融和する大空間を、これまで100万人ほどが訪れている。

平野政吉美術館の閉館にあたり、平野政吉美術館の歴史を写真で辿り、1930年代の藤田作品を時系列で展覧する。

4. 主な展示作品

藤田嗣治油彩画	《カーナバルの後》 《室内の女二人》 《町芸人》 《吾が画室》 《北平の力士》 《五人女》 《自画像》 《秋田の行事》 《一九〇〇年》 《私の画室》 《客人》 《踊子》 《台所》
西洋画等	ペルークスコ派の宗教画2点 ゴヤ《闘牛技》4点
写真	藤田嗣治と平野政吉の交流関連 現秋田県立美術館の建設関連
資料	平野家美術館図面（複写） 中南米での藤田の収集品

特別企画展 藤田嗣治 壁画《秋田の行事》からのメッセージ

1. 展示会場 新秋田県立美術館
1F 県民ギャラリー 2F 大壁画ギャラリー 3F ギャラリーI・II
2. 会 期 平成25年9月28日（土）～平成25年11月10日（日）
3. 展示趣旨

「詩の国秋田の壁画時代を現出させよう」—1936年7月、藤田嗣治は、秋田市の資産家・平野政吉の美術館建設計画を受け、秋田での壁画制作を表明した。

壁画《秋田の行事》は平野家の米蔵で描かれ、1937年3月に完成。縦3.65m、横20.5mの大画面には、秋田の祭り、年中行事、日々の暮らし、産業などが描き込まれ、藤田が愛惜の思いを寄せた日本の原風景が色彩豊かに表現されている。

46年間、平野美術館において公開されてきたこの壁画は、2013年9月28日から、新しい美術館に移転、公開されることになった。

新美術館の開館を記念する本展は、壁画《秋田の行事》を多角的に分析し、壁画からの様々なメッセージを読み解くことを主眼とする。特に、《秋田の行事》と《大地》を対比的に検討し、藤田の壁画の変遷を辿ることで、《秋田の行事》の藤田の画業における位置を解明する。

また、壁画《秋田の行事》が描かれた経緯を、幻となった戦前の美術館構想、制作現場となった米蔵の復元など、平野家との藤田の関わりのなかで解説し、藤田が描いた秋田の風俗からは、失われた伝統文化を考察する。さらに、藤田の絵画技法が乳白色から多彩な色彩へと変容する1930年代の作品群について、科学調査の成果を踏まえながら解説する。

4. 主な展示作品

藤田嗣治油彩画	《メキシコにおけるマドレーヌ》（京都国立近代美術館蔵） 《大地（部分）》（ウッドワン美術館蔵） 《夢から醒めて》（株式会社テレビ朝日蔵） 《夢》（岐阜県立美術館蔵） 《カーナバルの後》 《町芸人》 《室内の女二人》 《北平の力士》 《吾が画室》 《自画像》 《私の画室》 《眠れる女》 《五人女》
藤田嗣治素描	《壁画の素描》15点
映画	藤田嗣治監督 映画「現代日本」子供篇
再現展示	米蔵再現模型（実物大・一部） 米蔵バーチャル再現

	平野家美術館バーチャル再現
資料等	藤田作品の科学分析調査結果 平野家美術館図面（複写） 1930年代の秋田の着物

企画展 藤田嗣治の1930年代

1. 展示会場 新秋田県立美術館 2F大壁画ギャラリー 3FギャラリーI・II
2. 会 期 平成25年11月16日（土）～平成25年12月1日（日）（予定）
3. 展示趣旨

平野政吉コレクションには、藤田嗣治の1930年代の代表作が多数収められているが、それは、平野政吉が1936年、藤田嗣治の妻マドレーヌの死去に際し、藤田作品を購入したことに始まる。

本展では、乳白色の裸婦像から、豊かな色彩表現へと変容する時期の作品群を展覧し、筆触を作品ごとに変化させ、色彩の効果にも意識的だった油彩画、また日本画への取り組みなど、1930年代の藤田の新しい試みを紹介する。

4. 主な展示作品

藤田嗣治の油彩画	《カーバルの後》 《町芸人》 《室内の女二人》 《北平の力士》 《自画像》 《私の画室》 《一九〇〇年》 《踊子》
藤田嗣治の日本画	《ちんどん屋三人組》《力士》（当財団蔵） 《狐》《猫》《カニ》《なまず》《秋田川反美人図絵》 《秋田おばこ》《雪國の少女》（7点：秋田県立近代美術館蔵）

特別企画展 レオナール・フジタとパリ 1913-1931

1. 展示会場 新秋田県立美術館 2F大壁画ギャラリー 3FギャラリーI・II
2. 会 期 平成25年12月7日（土）～平成26年2月2日（日）
3. 展示趣旨

いまから100年前の1913年、26歳の藤田嗣治は、フランスに渡る。本展は、その渡仏100年を記念する展覧会である。当時のパリは、世界各国から画家、詩人、音楽家などが集まる芸術潮流の中心地であり、活気に満ちた国際都市でもあった。このパリで、藤田は乳白色の下地に繊細な線で描く裸婦像で、画家としての評価を確立する。本展は、1913年から中南米に旅立つ1931年に焦点をあて、フランスおよび日本各地の所蔵者から出品いただいた作品で構成する。エコール・ド・パリの寵児だった時期の作品を鑑賞していただく。

4. 主な展示作品

藤田嗣治油彩画	《自画像》（東京藝術大学蔵） 《裸婦》（ニーム美術館蔵） 《裸婦》（フォール美術館蔵）《裸婦と猫》（ひろしま美術館蔵） 《ヴァイオリンを持つこども》（熊本県立美術館蔵） 《横たわる裸婦（夢）》（国立国際美術館蔵） 《横たわる裸婦》（神奈川県立近代美術館蔵） 《横たわる裸婦》（茨城県立近代美術館） 《眠れる女》（当財団蔵）
藤田嗣治関連資料	妻登美子宛書簡

企画展 藤田嗣治の旅

1. 展示会場 新秋田県立美術館 2F大壁画ギャラリー
2. 会 期 平成26年2月8日(金)～平成26年3月16日(日)
3. 展示趣旨

藤田嗣治の1930年代は、パリを離れて中南米を巡遊し、日本に帰国。日本では全国各地を旅する他、中国にも足を伸ばしている。

本展では、ブラジルを描いた油彩画、メキシコでのデッサン、中南米での収集品で中南米の足跡を追い、油彩画《北平の力士》と北京で描いたデッサンで中国の旅を紹介する。中南米や中国の民衆の活気が伝わる藤田作品の展観で、旅する画家・藤田のまなざしに触れていただく。

4. 主な展示作品

藤田嗣治油彩画	《カーナバルの後》 《室内の女二人》 《町芸人》 《北平の力士》
藤田嗣治素描	《リオの人々(下絵)》 《メキシコでの素描》5点 《北京の素描》10点 《裸婦》《横臥裸婦》《裸婦立像》
資料	藤田嗣治の中南米での収集品 (仮面・土偶・岩偶・人形)

企画展 藤田嗣治の女性像

1. 展示会場 2F大壁画ギャラリー 3FギャラリーI・II
2. 会 期 平成26年3月23日(日)～
3. 展示趣旨

藤田嗣治の裸婦像は、なめらかな乳白色の下地に描かれた油彩画がよく知られているが、版画や素描でも、伸びやかな線描や、ほのかな陰影表現により、油彩画に劣らないくらい、肌のやわらかさが表現されている。

本展では、妻マドレーヌをモデルとした作品を中心に、藤田が描いた裸婦と着衣の女性像を紹介する。

4. 主な展示作品

藤田嗣治油彩画	《五人女》 《一九〇〇年》 《踊子》
藤田嗣治素描	《Y夫人肖像》 《女》 《マドレーヌ像(花をまく)》 《少女マドレーヌ》 《裸婦》 《裸婦立像》 《横臥裸婦》
藤田嗣治版画	《女二人》 《裸婦「女ともだち」》《裸婦「立像」》

II 教育普及事業

1. 講演会

講演会名	企画展「藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢 ーファイナル平野政吉美術館ー」関連講演会
演題	未定
講師	東京文化財研究所 企画情報部 副部長 山梨絵美子氏
開催日	平成25年5月11日(土)
会場	現秋田県立美術館 大展示室 定員70名

講演会名	特別企画展「藤田嗣治 壁画《秋田の行事》からのメッセージ」 関連講演会
演題	未定
講師	北海道立近代美術館 学芸第一課長 佐藤幸宏氏
開催日	平成25年10月
会場	未定

講演会名	特別企画展「レオナルド・フジタ 1913-1931」関連講演会
演題	未定
講師	国際教養大学 准教授 阿部邦子氏
開催日	平成26年1月中旬
会場	未定

2. シンポジウム

名称	特別企画展「藤田嗣治 壁画《秋田の行事》からのメッセージ」 関連シンポジウム
討議テーマ	未定
パネラー	北海道立近代美術館 学芸第一課長 佐藤幸宏氏 東北芸術工科大学 教授 森直義氏 秋田県立大学 准教授 込山敦司氏 公益財団法人平野政吉美術財団 学芸員
開催日	平成25年10月
会場	未定

3. 朗読会

企画展関連	「藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢ーファイナル平野政吉美術館ー」展
朗読会名	藤田嗣治を読む
開催日	平成25年6月21日(金)・22日(土)
朗読担当	シアター・ル・フォコンブル
開催日	平成25年6月下旬
会場	現秋田県立美術館 大展示室 定員100名

4. ギャラリートーク

企画展関連	「藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢ーファイナル平野政吉美術館ー」展
実施日	平成25年 4月6日(土) 4月20日(土) 5月4日(土) 5月18日(土) 6月の毎週土曜日
会場	現秋田県立美術館 大展示室 小展示室

特別企画展関連	「藤田嗣治 壁画《秋田の行事》からのメッセージ」展
実施日	会期中 4回実施
会場	新秋田県立美術館 県民ギャラリー 大壁画ギャラリー ギャラリーⅠ・Ⅱ

特別企画展関連	「レオナルド・フジタ 1913-1931」展
実施日	会期中 6回実施
会場	新秋田県立美術館 県民ギャラリー 大壁画ギャラリー ギャラリーⅠ・Ⅱ

定例	壁画《秋田の行事》を読み解く
実施日	平成25年4月から6月までの毎週第一土曜日
会場	現秋田県立美術館 大展示室 小展示室

5. 美術館教室

教室名	親子鑑賞教室
実施日	未定
会場	新秋田県立美術館 大壁画ギャラリー
内容	《秋田の行事》に描かれている場面や「もの」を、親から子へ伝えながら鑑賞する

6. 講習会

講習会名	地域サポーター講習会
実施日	未定
会場	新秋田県立美術館 大壁画ギャラリー
内容	美術館周辺の商店主、市民サポーターに壁画の魅力を知ってもらう

7. コンサート

企画展関連	「藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢—ファイナル平野政吉美術館—」展
コンサート名	さよならコンサート
演奏者	聖霊高校ハンドベル部
実施日	平成25年5月25日(土)
会場	現秋田県立美術館 大展示室 定員100名

Ⅲ調査研究事業

- ① 《秋田の行事》をはじめとする藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を常設展、企画展においてわかりやすく解説する。
- ② 調査・研究成果を『公益財団法人平野政吉美術財団 紀要』で発表する。

Ⅳ美術ホール（4月1日～9月1日）運営事業

1. 事業内容

- ① 絵画、デザイン、彫刻、書道、華道、写真、児童・生徒作品等、美術ホールで展示する個人及び団体の利用受付業務、展示指導を行う。
- ② 美術ホールと展示室が一体となった利用の促進。
 - ・ 児童・生徒のセカンドスクールや職場体験学習の一環として、美術ホール見学を実施。
 - ・ 大学等の授業の一環として、美術ホールの展示作品と展示室の藤田嗣治作品及び平野政吉コレクションの同時鑑賞を継続する。

※新秋田県立美術館では、平成25年度は、県民ギャラリーの運営はない。

Ⅴ誘客事業

1

事業名	アニバーサリーは美術館で
実施日	随時
会場	新秋田県立美術館
内容	誕生日や結婚記念日に来館した人に、絵はがきなどをプレゼント。

2

事業名	キンダーミュージアム
実施日	未定
会場	新秋田県立美術館 大壁画ギャラリー
内容	幼児対象。ちよっぴり騒がしくても、声を出して、元気よく鑑賞。

3

事業名	県内公民館講座へのPR
実施日	未定
会場	新秋田県立美術館 大壁画ギャラリー
内容	地域の拠点となっている公民館の講座で《秋田の行事》を知ってもらい、地域住民へ広く周知してもらう。

VI情報発信事業（自主事業）

1

事業名	美術館ホームページの充実
実施日	随時
内容	ホームページの内容を精査し、よりアピール度の高いものにする。 海外向けに的確な英語表記を掲載。

2

事業名	リアルタイム情報発信
実施日	随時
内容	ブログ、ツイッターで、素早く展覧会やイベントの情報を発信。

VII売店事業

来館者へのサービスの一環として、鑑賞をより豊かなものにするため、現秋田県立美術館において、ミュージアムショップを運営。同館閉館ともない、販売形態を変更し、売店事業を継続する。

4月から6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップで直接販売。 ・6月30日の閉館にともなって、直接販売は終了。 ・インターネットで《秋田の行事》の額絵を販売。
7月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの額絵販売は継続。 ・新秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者へ卸売価格で販売。